

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度				
事業番号	18	事業名	自主防災活動支援事業			担当課		安心安全課			
			(大事業名) 自主防災活動支援事業			予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-14-2 自主防災活動支援事業			
					決算書ページ		78 ~ 78		一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		事業開始の背景	地域防災力の向上を図るため、自治会等、地域の自主防災活動等を支援する。				
		政策	1	住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり							
		施策	(2)	地域と一体となった防災力の向上							市民・民間事業者との連携協働の可能性
	その他	開始年度	平成10年度								
		終了予定年度	☐	年度	☒						未定
		根拠法令等									
		関連計画	長久手市地域防災計画								
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）				
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)			
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 【事業内容】 地域の自主防災活動の活性化のため、自主防災組織が開催する防災講習会や防災資機材の貸与等の活動支援を行います。		【アクションプラン指標】 自主防災倉庫設置数【累計】 【その他の指標】		市内における自主防災組織の設置率が向上する。 (成果指標名) 自主防災組織の設置率		大規模災害時に、各地域で自主防災活動が進められるようになる。			
						大 事 業 共 通					

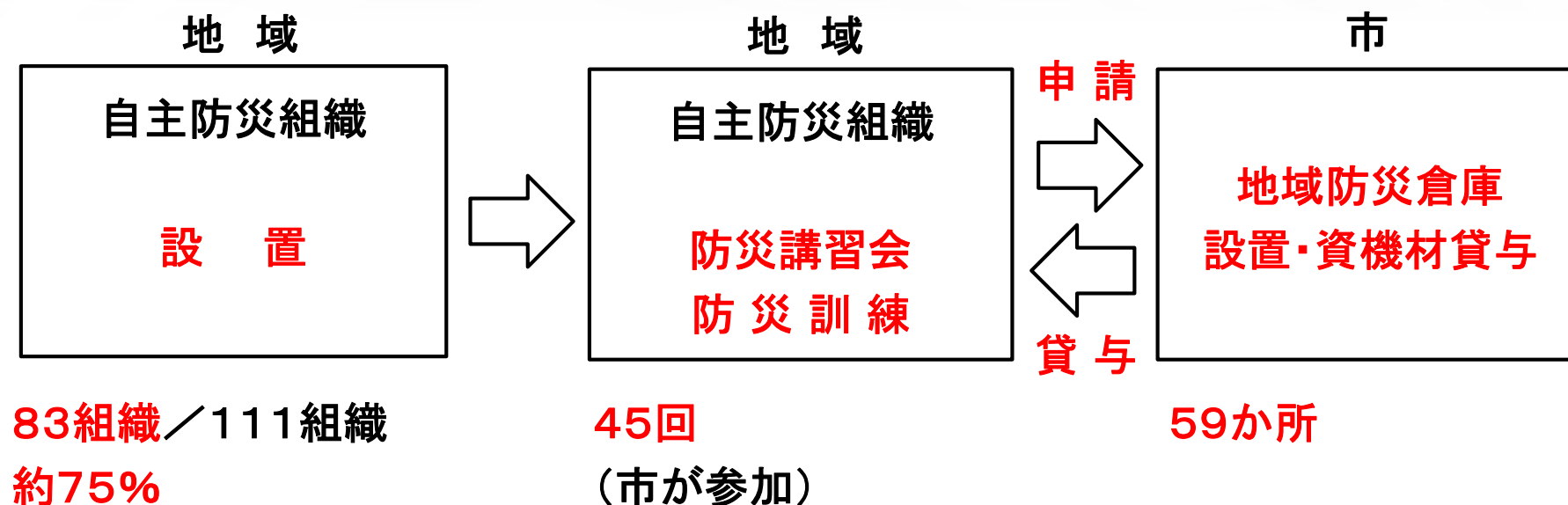
活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	
活動指標	1	【アクションプラン事業】 自主防災倉庫設置数【累計】	地区	基準値	54	見込	59	60	61	62	63
				目標値	59	実績	59				
	2			基準値		見込					
				目標値		実績					
	3			基準値		見込					
				目標値		実績					
	4			基準値		見込					
				目標値		実績					
エピソード											
事業開始からの経緯											
自主防災組織に対する自主防災倉庫・資機材の貸与事業は、平成10年度から実施している。令和5年度末時点で83自治会において自主防災組織が設立され、市から倉庫・資機材を貸与している。なお、複数の自治会で共同して自主防災活動を実施している地区もあるため、同時点における地区数としては59地区になる。											
R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
令和4年度に2つの自治会が積極的に自主防災活動に取り組んだことから、これら2つの自治会について、令和5年度に自主防災組織が設立され、市から自主防災倉庫・資機材を貸与した。											

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		自主防災組織の設置率	%	年度	▶	R4 年度	▶	【現状】 R5 年度	▶	R6 年度	▶	R7 年度		
					73		74		75		76			
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						令和4年度に全ての自治会の中で自主防災組織を設置した率（設置率73%）を基準値とし、毎年その設置率を1%ずつ増やすことを指標目標値とした。					
	評価の理由、分析													
	自主防災倉庫設置数の2023（R5）年度目標59地区に対し、毎年1地区ずつの設置ではなかったが、地域に主防災組織の設立を促し、実績で59地区の倉庫設置数とすることができた。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		引き続き、市内全自治会における自主防災組織の設立を促し、自主防災倉庫・資機材の貸与を進めていく。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3 年 間 の 推 移	（単位：千円）		R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度		
		B	A.現状維持 B.拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算		
			C.縮小 D.廃止			396	3,594	3,358	264	306		
		理由			特定財源	合計額						
		市内全自治会における自主防災組織の設立を促し、自主防災倉庫・資機材の貸与を進めていく。				（内 国費）						
						（内 県費）		1,025	955			
						（内 諸収入）						
						（内 その他）		500	500			
		一般財源				396	2,069	1,903	264	306		
		積算額			R6年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R5年度予算額）＞							
			自主防災講習会委託 396千円（416千円）									

自主防災倉庫の設置・資機材の貸与

(R5年度末時点)



- ・活動班を基本とする構成
情報、消火、救出救護、避難誘導、給食・給水班
- ・会長及び副会長の配置
- ・平常時の活動及び災害時の応急活動

- ・防災講習会や防災訓練を、年間3回以上
- ・参加者が、30名以上
または、世帯数の概ね3分の1以上
- ・資機材の維持・管理
- ・継続的な防災活動

- ・希望する資機材を貸与
リヤカー・簡易担架等
発電機等、レスキュー
セット等、組立式炊飯器
等、簡易トイレ等

自主防災講習会の状況(R5年度～R3年度)

R5年度(45回)

No.	自治会等名	参加者 (人)	内容
1	下山防災クラブ	32人	講話
2	上川原防災講習会	18人	防災倉庫内の点検、消火訓練等
3	下山防災クラブ	27人	軽可搬ポンプの操作要領、防災講話
4	作田1・2防災講習会	66人	炊き出し、簡易トイレ説明、資機材展示
5	市が洞小学校区北部防災協力協議会	22人	講話、避難訓練報告、意見交換
6	長六西小自治会	24人	家具転倒防止
7	市が洞小学校区地域防災ローカル会議	27人	一斉防災訓練検討、地域防災対策検討
8	クリザンテーム長久手自治会	17人	HUG
9	市が洞小連合会	27人	豊明消防署見学
10	北部自治会連合会	80人	家具転倒防止講習、煙体験訓練等
11	長久手市立北中学校	40人	HUG
12	みなみのもり	11人	防災講話
13	防災ボランティアコーディネーター養成講座	29人	防災講話
14	東小学校放課後子ども教室	100人	キッズ防災
15	下山防災クラブ	19人	初期消火、軽可搬ポンプ放水等
16	上川原防災会	10人	HUG
17	岩七防災講習会	19人	水消火器、防災講話
18	長小連合会	33人	家具転倒防止、簡易トイレ等
19	東小地区社協	34人	防災講話
20	シーズンズ自治会	20人	炊き出し訓練
21	下山防災クラブ	18人	防災講話、備蓄品展示・説明
22	桃の木自治会	11人	防災DVD、防災講話
23	いぼくまサロン	18人	防災DVD、防災講話
24	南小学校放課後子ども教室体験プログラム	103人	キッズ防災
25	長久手高校PTA保険委員会	36人	防災講話(自衛隊東日本救助体験談)
26	南中学校区民生委員児童委員協議会	24人	東日本、熊本地震での民生委員の活動事例
27	パークサイドヒルズ自治会	20人	煙体験、水消火器、DVD、講話
28	塚田防災会	45人	炊き出し、倉庫資機材整理・清掃
29	作田一・二丁目防災会	121人	倉庫資機材展示、炊き出し等
30	市が洞二丁目自治会	25人	水消火器、倉庫資機材確認
31	クリザンテームヒルズ長久手自治会	20人	消火訓練、煙体験
32	長六西小自治会	28人	煙体験、水消火器
33	シーズンズ自治会	40人	AED、消火訓練、消防団車両見学
34	下山防災クラブ	55人	防災訓練(安否確認等)
35	岩七自主防災会	40人	防災訓練(安否確認等)
36	丸山住宅	140人	防災訓練(炊き出し訓練等)
37	若草シニアの会	10人	講話(東日本救助活動体験談)
38	大草区会	11人	救命講習
39	下山防災クラブ	20人	大府市防災学習センター
40	下山防災クラブ	20人	講話・意見交換(能登半島地震)
41	上川原防災会	40人	炊き出し訓練
42	長配三丁目サロン活動	35人	講話(東日本救助活動体験談)
43	長小連合会	72人	県職員による防災講話、クロスロード
44	北部連合会	30人	防災講話
45	東小地区社協	28人	炊き出し、社協被災地派遣報告会
計	45回	1,665人	-

R4年度(52回)

No.	自治会等名	参加者 (人)	内容
1	下山防災クラブ	30人	講話
2	上川原自主防災会	30人	水消火器、煙体験、倉庫確認
3	ライオンズ 藤が丘ガーデン自主防災会	15人	講話
4	北児童館	10人	防災マップ作り
5	市が洞小学校区北部防災協力協議会	19人	講話、自己紹介、意見交換
6	クリザンテームヒルズ長久手自治会	80人	防災講話、煙体験(消防署)等
7	下山防災クラブ	25人	風水害講話等
8	北部連合会	63人	防災DVD、講話
9	ファミサポ	13人	講話、ガラス飛散防止等
10	楽家晴	25人	講話
11	市が洞小学校区自治会連合会	26人	尾三消防見学
12	東小 放課後子ども教室	107人	キッズ防災
13	上川原自治会	7人	HUG
14	下山防災クラブ	30人	家具転倒防止
15	北熊地区防災会	13人	DVD、講話
16	下山防災クラブ	25人	可搬ポンプ、水消火器、救命訓練
17	若草シニアの会	11人	DVD、防災マップ説明
18	市が洞二丁目自治会	8人	DVD、講話、倉庫資機材確認
19	南小放課後子ども教室	30人	キッズ防災
20	N防キャン	25人	キャンプ用品展示、防災食の試食等
21	長配一丁目自治会	22人	水消火器、倉庫点検
22	パークサイドヒルズ長久手自治会	40人	DVD、水消火器、煙体験
23	長六西小自治会	23人	DVD、講話
24	砂子自治会	8人	倉庫資機材確認
25	作田一・二防災会	89人	煙体験、水消火器等
26	丸山住宅	80人	防災秋祭り
27	クリザンテームヒルズ長久手自治会	40人	DVD、水消火器
28	みなみのもり自治会	4人	防災講話
29	県営長久手第2住宅自治会	330人	避難訓練
30	下山防災クラブ・下山自治会	60人	安否確認、地域避難所開設
31	岩七自主防災会	40人	安否確認
32	大草区会	16人	救命講習
33	長久手ニュータウン自治会	20人	倉庫資機材組立、水消火器等
34	南小放課後子ども教室	40人	キッズ防災
35	南小放課後子ども教室	24人	キッズ防災
36	北児童館	70人	避難訓練、防災グッズ
37	はたるの丘自治会	13人	倉庫点検、水消火器訓練
38	前熊区	16人	防災DVD、防災講話
39	長六西小自治会	27人	消防署見学
40	セントハート	120人	炊き出し、煙体験、水消火器等
41	北学童	10人	講話、家具転倒防止等
42	ファミリーサポート	12人	講話、家具転倒防止
43	市が洞まち協	64人	DVD、講話、耐震性貯水槽確認
44	北部連合会	50人	講話、質疑応答
45	下山防災クラブ	24人	東日本体験談、防災WS(マイ防災)
46	上川原自主防災会	14人	AED取扱訓練等
47	北学童	63人	小学生向け防災講話
48	クリザンテーム長久手自治会	17人	豊田市防災学習センター
49	みなみのもり自治会	20人	資機材確認
50	昌蒲池自治会	20人	HUG、いえまですごろく
51	北児童館	33人	防災グッズ説明、地震体験車
52	長六西小	30人	AEDを用いた心肺蘇生訓練
計	52回	1,951人	-

R3年度(13回)

No.	自治会等名	参加者 (人)	内容
	下山防災クラブ	28人	コロナ禍における地域防災活動
	上川原防災会	30人	水消火器倉庫資機材取扱
	東小学校放課後子ども教室	105人	キッズ防災7/12～7/16の5日間
	下山防災クラブ	25人	家具転倒防止啓発等
	シーズンズ	8人	マンションの防災東日本大震災体験談
	県営長久手住宅	23人	水消火器・トイレに関する映像上映
	若草シニアの会	7人	避難の考え方、ガラス飛散防止等
	岩七自主防災会	40人	安否確認訓練
	下山防災クラブ	60人	下山地区一斉防災訓練
	ライオンズ 藤が丘ガーデン自主防災会	40人	講話「家庭の防災」
	下山防災クラブ	20人	救急訓練、応急手当
	長配一丁目自治会	30人	倉庫点検
	みなみのもり自治会	14人	倉庫点検
計	13回	430人	-

R5年度～R3年度の自主防災講習会の累積回数

自治会等名	回数
下山防災クラブ	7回
上川原自主防災会	7回
長六西小自治会	5回
クリザンテームヒルズ長久手自治会	5回
北部連合会	4回
みなみのもり自治会	4回
岩七自主防災会	4回
南小放課後子ども教室	4回
北児童館	3回
東小 放課後子ども教室	3回
若草シニアの会	3回
作田一・二防災会	3回
シーズンズ自治会	3回
ファミサポ	2回
ライオンズ 藤が丘ガーデン自主防災会	2回
市が洞小学校区北部防災協力協議会	2回
市が洞小学校区自治会連合会	2回
長小連合会	2回
東小地区社協	2回
市が洞二丁目自治会	2回
長配一丁目自治会	2回
パークサイドヒルズ長久手自治会	2回
北学童	2回
丸山住宅	2回
県営長久手第2住宅自治会	2回
大草区会	2回
	81回

自主防災組織の訓練・講習

【防災講話】



【ハザードマップウォーキング】



【備蓄食料品の試食体験】



【地域防災倉庫内の資機材の点検、訓練】



自主防災組織の訓練・講習（自主防災倉庫及び貸与資機材の事例）

【地域防災倉庫】



【資機材】



自主防災講習会の訓練項目と内容

自主防災講習会の訓練項目と内容

訓練項目		時間	場所	主な講師	訓練の内容
防災DVDの上映		30分	室内	N防ネット	熊本地震や南海トラフ地震に関するDVDを鑑賞し、災害への備えについて学ぶ
講話	地震の基礎知識と対策	30分～1時間	室内	N防ネット	南海トラフ地震を始めとした地震への備えについて学ぶ
	避難の考え方	30分	室内	N防ネット	災害時の避難の考え方について学ぶ
	東日本大震災での救助活動体験談	30分～1時間	室内	安心安全課	東日本大震災の救助活動に従事した職員の活動体験を聞き、防災に対する備えを学ぶ
	家具転倒防止	1時間30分～2時間	室内	N防ネット	家具の転倒防止について学ぶ
	災害時のトイレ特化対策	2時間	室内	安心安全課	災害時の課題の1つとされているトイレ使用について、使用方法や各家庭での備蓄計画を学ぶ
ワークショップ	避難所運営ゲーム（HUG：ハグ）	1時間～1時間半	室内	防災ボランティアコーディネーター	災害時に避難所を運営することを想定した、ゲーム感覚のシミュレーション訓練
	災害図上訓練（DIG：ディグ）	1時間～1時間半	室内	防災ボランティアコーディネーター	グループに分かれ、長久手市の地理的状況や公共施設、避難所の位置を地図に記し、地域特性や問題点などを知る
	長久手市版クロスロード	1時間～1時間半	室内	安心安全課	災害時又は日常的に想定される場面に対して、Yes/Noカードを使って行動の検討を行う
	いえまですごろく	1時間～1時間半	室内	安心安全課	災害時に知っておくべき知識を、すごろくをしながら楽しく学ぶ
実践型	ハザードマップウォーキング	1時間～2時間	屋外	安心安全課	ハザードマップ上で災害時の避難場所を確認しながら、地域の危険箇所を確認
	地域安否確認訓練	1時間～2時間	室内及び屋外	安心安全課	災害時の安否札の掲出・集計の仕方や周知の仕方の検討・定着を目的とした訓練
	備蓄食料品の試食体験	1時間～1時間半	室内	安心安全課	災害時用の備蓄食料品を実際に調理・試食 ※備蓄関係の講話も併せて開催 (炊き出しの同時開催も可能)
	地域防災倉庫内の資機材を利用した取り扱い訓練	1時間～1時間半	屋外	安心安全課	各自治会に貸与している防災倉庫内の資機材点検を兼ねて、資機材の組み立て等の実施

市が貸与する自主防災資機材選択リスト(点数制)

持ち点100点の範囲内で、市が指定する資機材リストの中から希望する資機材を選択してもらい、貸与する方式

※ 品目、型番、点数等は年度によって変更

自主防災資機材選択リスト(令和5年度の例)

No.	品名	型番	点数
1	アルミ組立リヤカー	-	30
2	レスキューキャリア	SONAE	6
3	四つ折りストレッチャー	-	13
4	ハンディストレッチャー	-	8
5	カセットガス発電機	エネポ	24
6	コードリール	30m	8
7	救助工具セット	-	20
8	移動かまど (組立式炊飯器)	-	68
9	下水道直結型マルチトイレ	マルチトイレタイプS	25
10	簡易トイレ	ワンタッチトイレP型	7
11	P型袋セット	100枚セット	3
12	凝固・衛生袋セット(大箱)	100枚セット	5
13	ワンタッチイベントテント	-	38
14	多目的プライベートテント	ST-3	6
15	手回し式ラジオ	-	2
16	ハンド型メガホン	-	2
17	LEDランタン	-	1
18	ブルーシート	2間×3間 10枚	10
19	消火用バケツ	20個	6
20	ヘルメット	-	2
21	トラロープ	200m	3
22	土のう袋	100枚	5